

# エコアクション21 環境活動レポート

2011年度(期間 2011/4～2012/3)



## ケミコン精機株式会社

〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

Tel : 0428-24-3830(代表)

Fax : 0428-24-8599

# 1. 組織の概要

---

(1) 事業所名

ケミコン精機株式会社

(2) 代表者名

代表取締役常務 堀川 勝司

(3) 所在地

青梅事業所：〒198-0042 東京都青梅市東青梅 1-7-6

仙台事業所：〒989-2436 宮城県岩沼市吹上 2-3-7

(4) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 高橋 光也

連絡先 Tel 0428-24-3830

Fax 0428-24-8599

(5) 資本金

2,000 万円

(6) 事業の規模

売上高 258,850 万円 (2010 年度実績)

従業員数 69 名

(7) 事業内容

各種精密部品加工、販売

合理化、省力化機器設計及び製作、販売

# 2. 対象範囲

---

組織の概要に記載した全事業所・全事業内容

### 3. 環境方針

当社は、環境方針を以下の通り定め、これに基づき行動します。

文書番号 CE-101-11A

## 環境方針

ケミコン精機株式会社は、日本ケミコングループ 唯一の設備製作会社として『日本ケミコン環境基本方針』に基づき環境保全活動に取り組んでいきます。この環境方針を、ケミコン精機株式会社全事業所の活動方針として制定致します。

1. 環境方針を達成するために、適切な組織の構築、必要な人的・物質的資源を整え、目標を定め継続的改善および環境負荷の削減に取り組めます。  
環境方針及び環境目標は、毎年定期見直しを行なうとともに必要な場合は臨時見直しを行ないます。
2. 環境関連の法規、条例および当社が同意したその他の要求事項を遵守し、実行します。
3. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
4. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組めます。
  - ①省エネルギー推進(CO2削減)
  - ②廃棄物の削減およびリサイクルの推進
  - ③水使用量の削減(節水)
  - ④化学物質の管理
  - ⑤グリーン調達/購入の推進
  - ⑥自社製品の環境配慮
5. 環境方針は文書化し、教育訓練および日常の活動を通じて、当社で働く全ての人に周知・徹底をはかるとともに社外にも公表致します。

2011年4月25日

ケミコン精機株式会社  
代表取締役常務

代表者署名 堀川 勝司

## 4. 環境目標

当社における 2004～2008 年度実績平均を基準とし、2009 年度から 2011 年度までの中期目標を設定。項目 5) 6) は 2010 年度から追加した項目となっております。

項目	基準	中期目標		
	2004～2008 年度平均	2009年度	2010年度	2011年度
1) 省エネルギーの推進 (CO <sub>2</sub> の削減)	2,848 Kg-CO <sub>2</sub> /人	2,791 Kg-CO <sub>2</sub> /人	2,734 Kg-CO <sub>2</sub> /人	2,677 Kg-CO <sub>2</sub> /人
①電力使用量		2004～08年度 実績平均比 2.0%削減	2004～08年度 実績平均比 4.0%削減	2004～08年度 実績平均比 6.0%削減
②灯油				
③液化石油ガス(LPG)				
④ガソリン				
2) 主廃棄物(単純焼却)の削減及びリサイクルの推進	0.137 t/人	0.136 t/人	0.134 t/人	0.133 t/人
①廃プラスチック		2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 2.0%削減	2004～08年度 実績平均比 3.0%削減
②廃油				
③段ボール				
④金属くず				
3) 総排水量削減	10.85 m <sup>3</sup> /人	10.85 m <sup>3</sup> /人	10.85 m <sup>3</sup> /人	10.85 m <sup>3</sup> /人
①下水道		2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減	2004～08年度 実績平均比 1.0%削減
4) 化学物質の削減	(1.67Kg/人) 2006年度参考	ジクロロメタンについては、2007年度より全廃し代替品を使用。あえて数値目標とはしない		
①ジクロロメタン ②化学物質の管理		化学物質の監視については、数値目標とはせず活動計画の中で毎月監視を行っていく		
5) グリーン購入の推進			グリーン購入の ルール作り(準備期 間)	グリーン購入状況 を毎月把握する
6) 当社自らが設計製作する 製品の環境配慮			環境配慮設計の ルール作り(準備期 間)	環境部品明細の使 用状況を毎月把握 する

※CO<sub>2</sub> 排出係数は、0.378Kg-CO<sub>2</sub>/Kwhを使用。

※総排水量の削減については、用途が生活排水のみであり、一通りの対策を実施したことから 2011年度まで同じ数値目標としています。

## 5. 環境活動計画

---

- (1) 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub> の削減)
  - ①空調の設定温度管理の徹底、節電対策
  - ②断熱対策の実施
  - ③照明の節電徹底
  - ④OA 機器の節電、省電力設定の徹底
  - ⑤社有車エコ運転の徹底 (エコカー入替え含む)
  - ⑥コンプレッサーのエア漏れ点検 / 整備の実施
  
- (2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - ①段ボールのリサイクル徹底 (非焼却)
  - ②古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底 (非焼却)
  - ③緩衝材、木材パレットの再利用
  - ④事務用紙の再利用 / リサイクルの徹底
  - ⑤部品梱包の簡略化 / 削減
  
- (3) 総排水量削減
  - ①各蛇口の節水、ルールの徹底
  - ②蛇口等の水漏れ点検
  
- (4) 化学物質の管理
  - ①新たな化学物質使用の監視・確認
  - ②化学物質一覧表の作成と運用
  
- (5) グリーン調達 / 購入の推進
  - ①事務用品のグリーン購入比率の把握
  - ②エコラベル認定品の優先購入推進
  - ③グリーン調達一覧表の作成と遵守確認
  
- (6) 自社製品の環境配慮
  - ①RoHS・省エネ対応部品明細使用の遵守・確認
  - ②小型化、超寿命化、部品点数削減の推進

## 6. 環境目標の実績と評価

項目	単位	2004-08年度 実績平均(基準)	2011年度(2011/4~2012/3)		
			目標	実績	評価
1)省エネルギーの推進 (CO <sub>2</sub> の削減)	Kg-CO <sub>2</sub> /人	2,848	2,677	2,056	○
2)廃棄物の削減及びリ サイクルの推進	t/人	0.137	0.133	0.07	○
3)総排水量削減	m <sup>3</sup> /人	10.96	10.85	11.12	×
4)化学物質の管理	—	—	毎月の化学物 質の監視	該当する新たな 化学物質の使用 は無し	○
5)グリーン調達／購入の 推進	—	—	毎月のグリーン購 入比率の把握 と非エコ品のリス トアップ	毎月漏れなく実 施	○
6)当社製品の環境配慮	—	—	毎月のRoHS・ 省エネ明細の使用 把握と不備 理由の明確化	毎月漏れなく実 施	○

### 1) 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub>の削減)

結果：2004～08年度実績平均比に対しての6%削減目標 → 実績27.8%削減

### 2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

結果：2004～08年度実績平均比に対しての3%削減目標 → 実績48.9%削減

### 3) 総排水量削減

結果：2004～08年度実績平均比に対しての1%削減目標 → 実績1.5%増加  
配管の老朽化による予期せぬ漏水が起り、残念ながら目標未達となった

### 4) 化学物質の管理

結果：該当する新たな化学物質の使用は無し

### 5) グリーン調達／購入の推進

結果：毎月漏れなく、グリーン購入比率の把握と非エコ品のリストアップを実施

### 6) 自社製品の環境配慮

結果：毎月漏れなく、RoHS・省エネ明細（環境対応部品明細）の使用を遵守

## 7. 環境活動計画と取組結果、次年度の取組内容

### (1) 省エネルギーの推進 (CO<sub>2</sub>の削減)

	環境活動計画	評価	結果	次年度の取組み
①	空調の設定温度管理の徹底、節電対策	○	・冬20℃、夏28℃の徹底 ・エアコンONタイミング30℃実施 ・局所扇風機、サーキュレーターの導入 ・網戸の設置と外気取り入れ推進 ・デマンドの導入 ・高効率エアコンへの入替え ・ビニールカーテンでの使用エリアの分割など積極的に投資を行い、結果も出せた	・冬20℃、夏28℃の徹底 ・エアコンONタイミング30℃実施 ・扇風機等の活用 ・外気取り入れ推進 ・デマンドの活用 ・簡易間仕切り、使用エリアの分割、限定
②	断熱対策の実施	○	・よしず、すだれの設置 ・屋根の断熱塗装 ・窓をペアガラスに交換	・よしず、すだれの設置
③	照明の節電徹底	○	必要なエリアのみの点灯実施	継続
④	OA機器の節電、省電力設定の徹底	○	実施可能なコピー機、プリンター、PCは全て省電力設定に変更	継続
⑤	社有車エコ運転の徹底	○	1台ハイブリッドカーに入替えを実施	継続
⑥	コンプレッサーのエアリーク点検/整備の実施	○	毎月点検を実施	継続

### (2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

①	段ボールのリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルールの徹底実施	継続
②	古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルールの徹底実施	継続
③	緩衝材、木材パレットの再利用	○	置場を設置	継続
④	事務用紙の再利用/リサイクルの徹底	○	シュレッダーにかけて再資源化	継続
⑤	部品梱包の簡略化/削減	○	業者への簡略化協力依頼実施	継続

### (3) 総排水量削減

①	各蛇口の節水、ルールの徹底	○	節水表示により徹底	継続
②	蛇口等の水漏れ点検	○	3か月毎に実施	継続

### (4) 化学物質の管理

①	毎月の新規化学物質使用のチェック	○	洗浄剤、焼入れ油を新規で購入したがPRTR法に該当しないことを確認	継続
②	化学物質一覧表の作成	○	一覧表の作成完了	一覧表の活用、更新

### (5) グリーン調達/購入の推進

①	事務用品のグリーン購入比率の把握	○	毎月集計し、年間で103件(重複含む)の非エコ品をリストアップできた	継続
②	エコラベル認定品の優先購入推進	○	コピー用紙や名刺、トナーなど6点の事務用品をエコラベル品に変えることができた	継続
③	グリーン調達一覧表の作成	○	一覧表の作成完了	一覧表の活用、更新

### (6) 自社製品の環境配慮

①	環境部品明細(RoHS対応、省エネ)使用の遵守・確認	○	新規設計案件において、遵守率100%を達成	継続
②	小型化、長寿命化、部品点数削減の推進	○	設計時に確認	継続

取組結果の凡例: ○実施 △不十分 ×未実施

# 活動内容の紹介

## (1) 節電対策

今年度の活動の中で、効果の大きかった節電対策の一例を紹介します。

### 【青梅事業所】



屋根の断熱塗装



よしず

### 【仙台事業所】



窓のペアガラス化



壁面取り付け型扇風機

## 2) ボランティア活動



青梅事業所では、5S 活動の一環として当番制で、会社前の歩道の清掃を毎週行っております。



仙台事業所では、河川敷ウォーキングを行い、みんなでゴミ拾いを行いました。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

当社の 2011 年度における環境関連の適用法令に基づく遵守状況の確認結果の概要は以下の通りであった。(2011 年 7 月 26 日確認)

### 1) 青梅事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合

### 2) 仙台事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分（運搬、処理の委託）	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合
消防法	危険物貯蔵の届出	適合

※上記の通り環境に関連する法令について確認した結果不適合はありませんでした。

また、2011 年度において近隣・行政等の利害関係者より環境に関する苦情、訴訟はありませんでした。



## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

---

### 【代表者のコメント】

毎月の定期的な活動が身についてきて、活発な活動が展開出来た。

漏水による目標値未達は、残念であったが、EA 活動で定期的にデータを取っていたので、迅速に対応できたのは良かった。これを教訓として今後も対応していくこと。

審査時の改善提案も検討して、より良いシステムを作り上げていくこと。また、昨年実施した節電対策は、大きな効果が認められたので、今期も継続して実施の事。

今期は、生産活動が大きく減少するため、コストダウンに注力するが、本システムも連携して意識を深め、知識を広げ、知恵を絞り目標達成に向けて活動をしていくこと。